

# 「読書活動日本一のまちづくり」を目指して



いつでも どこでも 本といっしょに

読書活動に関する問い合わせ先  
読書推進課  
☎ 63-4121

大人と子ども 家族で読書を楽しむために・・・

## 「家読（うちどく）」をはじめませんか？

### 「家読（うちどく）」ってなあに？

「家読（うちどく）」とは「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味します。学校で行われている「朝読（あさどく）」（朝の読書の略）の家庭版として考えられたものです。家族で本を読んでコミュニケーションし、「家族の絆づくり」をすることを目的としています。

読書は個人的な体験ですが、感想を話し合ったり、人にすすめたりして言葉にすることで、コミュニケーション能力や読解力、表現力を高めることにもつながります。家読は、子どもも大人も一緒に成長し、心の豊かさをはぐくむ運動でもあります。

出水市では、今年4月に策定した「出水市読書活動推進計画（第二次）」の中で、家庭における行動目標として「家読20分間運動」を掲げました。

### 「家読」実践方法

家読の基本は、「読んだ本について家族で話す」という、シンプルなものですが、やり方には特に決まりはありませんので、それぞれの家庭の事情にあわせて実践してみてください。はじめからたくさんの約束事を決めるより、できることから、そして、楽しみながら、まずは週に1日20分間、「家読の日」をつくってみませんか？

#### 【家読実践例】

- ◎ 家族で同じ本を読む。
- ◎ それぞれが選んだ本を、それぞれのペースで読む。
- ◎ 読んだ本について感想を述べあう。
- ◎ 家読をする曜日や時間を決めて実践する。
- ◎ 家庭文庫を作る。
- ◎ 読んだ本は、家読ノートや家読カレンダーを作り記録する。



## 第3土曜日は「市民読書の日」

